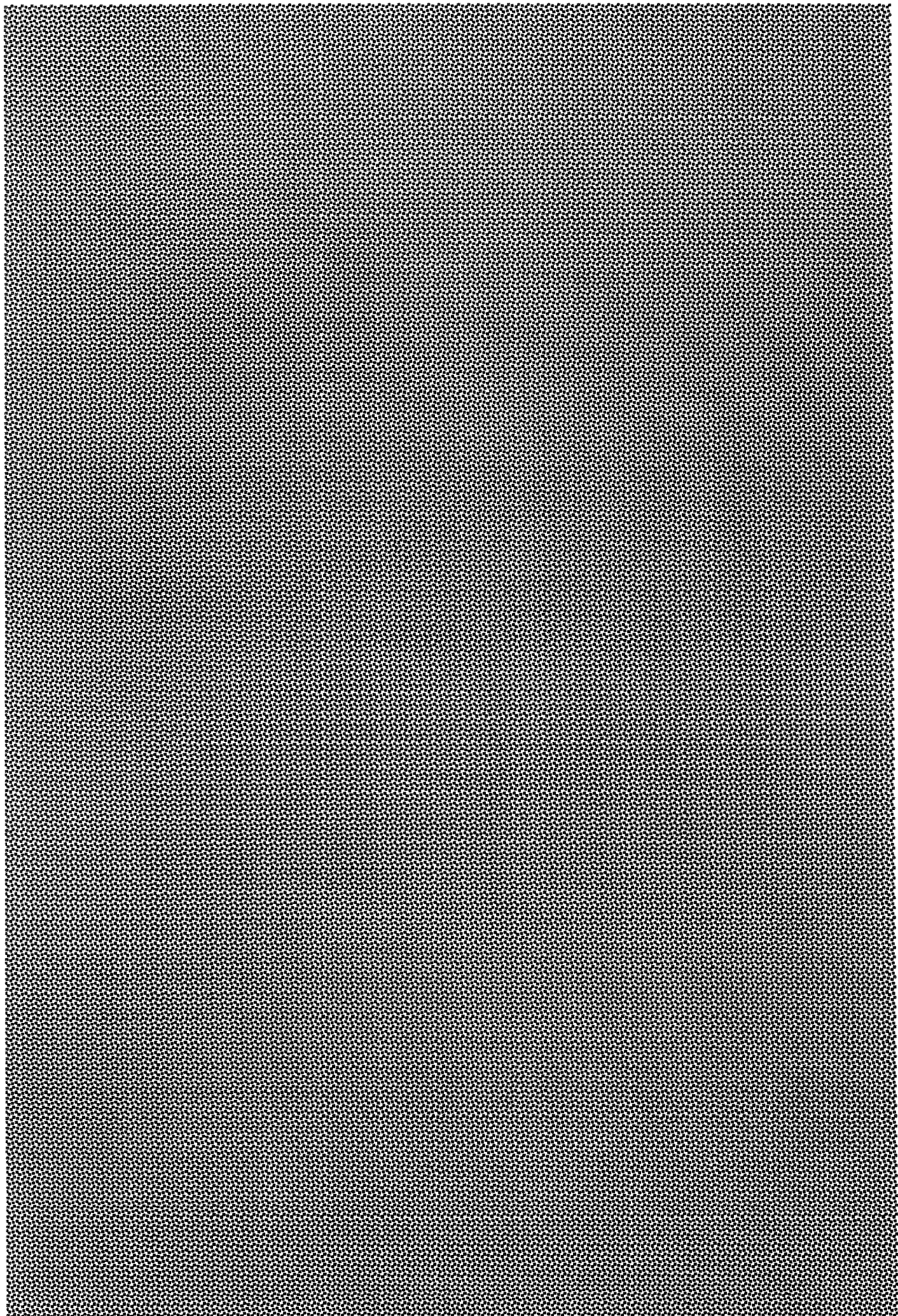


国語

注 意

- 1 問題は **1** から **5** までで、11ページにわたって印刷してあります。
- 2 検査時間は**五〇分**で、終わりは**午前九時五〇分**です。
- 3 声を出して読んではいけません。
- 4 答えは全て解答用紙に明確に記入し、**解答用紙だけを提出しなさい。**
- 5 答えは**特別の指示**のあるもののほかは、各問の**ア・イ・ウ・エ**のうちから、最も適切なものをそれぞれ**一つずつ**選んで、その記号を書きなさい。
- 6 答えを直すときは、きれいに消してから、新しい答えを書きなさい。
- 7 **受検番号**を解答用紙の決められた欄に記入しなさい。



1

次の各文の——を付けた漢字の読みがなを書け。

- (1) 相手からの問い合わせに迅速に返答する。
- (2) 両国の文化には顕著な相違がある。
- (3) 伯父は郊外に豪邸を構えた。
- (4) 異常気象の原因を多くの人が詮索している。
- (5) 修学旅行のお土産に箸を選ぶ。

2

次の各文の——を付けたかたかなの部分に当たる漢字を楷書で書け。

- (1) 駅員に乗り越し分のウンチンを支払う。
- (2) 富士山はデンケイ的な成層火山だ。
- (3) 日本語で書かれた小説を英語にヤクす。
- (4) その湿原にはアサい沼が点在している。
- (5) 鯨はエラではなくハイで呼吸する。

3

次の文章を読んで、あとの各問に答えよ。（*印の付いている言葉には本文のあとに「注」がある。）

〔問1〕 山下はそう言ったあと、口をぎゅつと結んで笑顔になり、親

指を立てた。とあるが、山下が「口をぎゅつと結んで笑顔になり、親指を立てた」わけとして最も適切なのは、次のうちではどれか。

ア 住宅地で絵画教室を開くことについての注意を聞いて落胆した実弥子の様子を見て、少し言いすぎたことに気づき、その場を取り繕おうと思ったから。

イ 住宅地で絵画教室を開くことについての注意を聞いていた実弥子の反応に、ぎこちなさを感じ、物件を借りてもらえないのではと心配になったから。

ウ 住宅地で絵画教室を開くことについての注意を前向きに受け入れた実弥子に、意欲的な様子を感じとり、後押ししたい気持ちになったから。

エ 住宅地で絵画教室を開くことについての注意をしつかりと聞いた実弥子が、また小学生のような元気な返事をしたために、自分まで愉快的な気持ちになったから。

〔問2〕⁽²⁾ 「うれしい。」と言いながら、ほんとうにうれしい気持ちにな

なってきたことを、実弥子は感じていた。とあるが、このときの実弥子の心の動きに最も近いのは、次のうちではどれか。
ア 無表情のままのルイに対し、不審に思いつつも「とつてもうれしい」と言葉をかけたところ、ルイがにっこりと笑顔を浮かべてくれたので、「ほんとうにうれしい気持ち」になった。

イ 無表情のままのルイに対し、歓迎の気持ちを込めて「とつてもうれしい」と言葉をかけたときに、実際にルイが来たことを喜んで自分の気付き、「ほんとうにうれしい気持ち」になった。

ウ じつと実弥子の方を見ているルイに対し、「とつてもうれしい」と言葉をかけたところ、ルイが目線を下げた様子から心を開いてくれたと確信して、「ほんとうにうれしい気持ち」になった。

エ じつと実弥子の方を見ているルイに対し、「とつてもうれしい」と言葉をかけたときに、ルイがペンキ塗りの手伝いをしに来てくれたことに思い至り、「ほんとうにうれしい気持ち」になった。

〔問3〕⁽³⁾ 深い湖の底で目を覚ました魚が細かな砂を舞い上げるような、

かすかな記憶のゆれがその胸の底で起こった。とあるが、この表現について述べたものとして最も適切なのは、次のうちではどれか。

ア 実弥子の心の奥深くで過去に味わったことのある感覚が、わずかによみがえりはつとするさまを、印象的に表現している。

イ ルイの心の奥に芽生えた芸術的な感性が、実弥子の心に少しずつ影響を与え始めていることを、象徴的に表現している。

ウ ルイの芸術的な才能を見出した実弥子が、幼少時の自分とルイとを重ね合わせているさまを、感覚的に表現している。

エ 名前しか知らない少年を手伝わせてしまった後ろめたさが、実弥子の心に一瞬よぎったことを、視覚的に表現している。

〔問4〕⁽⁴⁾ 実弥子とルイは一緒に外に出て、二人で家の前で腰に手を当て、

仁王立ち^{にぎみ}のようになって家全体を見回した。とあるが、このときの

二人の様子として最も適切なのは、次のうちではどれか。

ア 完成した家に向かって二人が目を見開いて立ち、まだ残っている雑草や錆^{さび}などを細かく確認している様子。

イ 完成した家に向かって二人が同じ姿勢のまま立ち続け、疲労で動くこともままならなくなっている様子。

ウ 完成した家に向かって二人がどしりと立ちはだかり、アトリエを守っていく決意を新たにしている様子。

エ 完成した家に向かって二人がしっかりと立ち、自分たちで作り上げたアトリエを満足げに眺めている様子。

〔問5〕 (5) 「というのは、こじつけみたいなものだけだね。」とあるが、

この表現から読み取れることとして最も適切なのは、次のうちではどれか。

ア 「アトリエ・キーチ」という名前には、そこを秘密基地のようなわくわくした場所にしたいという思いの他に、何らかの別の意味が込められているということ。

イ 「アトリエ・キーチ」という名前には、子どもたちや街の人たちの秘密基地になってほしいという、実弥子の強い思いが色濃く反映されているということ。

ウ 「アトリエ・キーチ」という名前には、秘密基地についての実弥子自身のイメージが込められているが、それがルイには全く伝わらなかったということ。

エ 「アトリエ・キーチ」という名前には、わくわくする場所にしたという思いが込められているが、実際のアトリエからはそれがあまり感じられないということ。

〔問6〕 本文中の に入る語句として最も適切なのは、次のうちではどれか。

ア やすやすと

イ うかうかと

ウ せつせと

エ つくづくと

〔問7〕 本文の内容を説明したものとして最も適切なのは、次のうち

ではどれか。

ア 実弥子は物件に薦が生い茂っている様子が気に入る、そこをアトリエとして借りる決心をした。

イ アトリエに初めてやってきたルイが立っている姿は、朝日を浴びて輝いているように見えた。

ウ 実弥子はルイの住んでいる場所も正確な年齢も知らなかったが、あえて尋ねようとはしなかった。

エ そつとやってきてはふいにいなくなるルイに対して、実弥子は次第に不安を抱くようになった。

4

次の文章を読んで、あとの各問に答えよ。
（＊印の付いている言葉には本文のあとに〔注〕がある。）

〔問1〕

① ② ③ に入る、正しい語句の組み合わせと

して最も適切なのは、次のうちではどれか。

- ア ① さらに ② 一方で ③ さて
イ ① むしろ ② または ③ しかも
ウ ① だが ② だから ③ たとえば
エ ① あるいは ② ところが ③ もしくは

〔問2〕 (1) ところがその生活様式があるときに大きく変わった。とある

が、その説明として最も適切なのは、次のうちではどれか。

ア 高い移動能力のある動物を追いながら遊動生活を行ってきた人類が、約一万年前に定住生活を始めた。

イ 環境を荒廃させない遊動生活を行ってきた人類が、約一万年前に環境を維持する技術を得て定住生活を始めた。

ウ 広い地域に分散した定住生活を行ってきた人類が、約一万年前から中緯度帯に限定した定住生活を始めた。

エ 大きな社会を作らずに遊動生活を行ってきた人類が、約一万年前から中緯度帯で定住生活を始めた。

〔問3〕 (2) つまり、人類史の視点から見れば、人類が遊動生活を放棄し、

定住生活を始めたのはつい最近のことだと言わねばならないのである。とはどういうことか。次のうちから最も適切なものを選び。

ア 人類の遊動生活は、わずか一万年前から始まった定住生活と比べると、はるかに長い歴史をもっているということ。

イ 人類は、遊動生活を放棄し、定住生活を始めてからわずか一万年で、今日の科学技術を築き上げてきたということ。

ウ 人類が遊動生活を放棄したのは、考えられていたよりもはるかに新しい出来事であるといふ最近判明したということ。

エ 人類は自然と共生する遊動生活を送っていたが、つい最近始めた定住生活で環境を荒廃させてしまったということ。

〔問4〕⁽³⁾ そして遊動生活者について、彼らは定住したくても定住でき

なかつたのだと考えても当然だ。とあるが、筆者がこのように述べたのはなぜか。次のうちから最も適切なものを選び。

ア 現代に生きる私たちでさえ、定住するための経済的基盤をもつことは難しいため。

イ 現代に生きる私たちは、定住が人間の本来的な生活様式だと思い込んでいるため。

ウ 現代では、人間は本来定住する生き物であると生物学的に証明されているため。

エ 現代人と異なり、太古の人間は遊動生活に適していたと考えられるようになったため。

〔問5〕 この文章における第十三段の役割の説明として最も適切なのは、次のうちではどれか。

ア それまでに述べてきた内容を受けて、遊動生活に関する論点を整理して、あとの解釈は読者に考えさせている。

イ それまでに述べてきた内容に加えて、遊動生活に関する新たな事例と根拠を示して、話題を転換している。

ウ それまでに述べてきた内容を受けて、遊動生活に関する新たな視点を提示して、論の展開を図っている。

エ それまでに述べてきた内容を受けて、遊動生活についての具体例を紹介して、結論に導いている。

〔問6〕⁽⁴⁾ これは実に不思議なことである。とあるが、「これ」について

の説明として最も適切なものは、次のうちではどれか。

ア 北アメリカ北西海岸の諸民族やアイヌなどの定住の開始がもたらすインパクトが、例外的なものとみなされていたこと。

イ 北アメリカ北西海岸の諸民族やアイヌなどが長い間行っていた食料生産が、例外的なものとみなされていたこと。

ウ 北アメリカ北西海岸の諸民族やアイヌなどが行っていた食料生産を伴わない定住生活が、例外的なものとみなされていたこと。

エ 日本の縄文文化が、北アメリカ北西海岸の諸民族やアイヌなどの文化と同様に、例外的なものとみなされていたこと。

〔問7〕 本文中の④に当てはまる表現として最も適切なのは、次のうちではどれか。

ア 遊動生活者は食料生産ができないから定住したくともできない

イ 遊動生活者は定住したからこそ食料生産ができるようになった

ウ 定住生活は稲作の到来とほぼ同時期に大陸からもたらされた

エ 定住生活は農業などの食料生産技術を生み出すことになった

5

異文化での暮らしを経験する意義について、具体的な体験や見聞を含めて、あなたの考えたことを二百字以内で書け。なお、書き出しや改行の際の空欄、や。や「などもそれぞれ字数に数えよ。

合計得点

点

正答表

※ の欄には、記入しないこと。

受 検 番 号

合 計 点 数

(1) 2点 (2) 2点 (3) 2点 (4) 2点 (5) 2点

(1) 2点 (2) 2点 (3) 2点 (4) 2点 (5) 2点

1	
(1) 迅速	じんそく
(2) 顕著	けんちよ
(3) 変邸	ごうてい
(4) 詮索	せんさく
(5) 箸	はし

2	
(1) ウンテン	運賃
(2) テンケイ	典型
(3) ヤクす	訳す
(4) アサい	浅い
(5) ハイ	肺

3		
(問7)	(問4)	(問1)
ウ	エ	ウ
	(問5)	(問2)
	ア	イ
	(問6)	(問3)
	エ	ア

4		
(問7)	(問4)	(問1)
ア	イ	ウ
	(問5)	(問2)
	ウ	エ
	(問6)	(問3)
	ウ	ア

5	

200

100

10点

5点 5点

5点 5点